

# 鹿児島大学大学院農林水産学研究科 履修の手引き

Guidebook for taking courses at the Graduate School of  
Agriculture, Forestry and Fisheries,  
Kagoshima University

2019 年度入学者用  
For students enrolled in 2019

鹿児島大学大学院農林水産学研究科  
Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University

## 農林水産学研究科履修の手引き 目次

### Contents

1. 鹿児島大学大学院農林水産学研究科概要	1
1) 概要	
2) 養成する人材像	
3) ディプロマポロシー	
4) カリキュラムポリシー	
5) 各専攻の概要	
1. Outline of The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries	
1) Overview	
2) Our Image of Human Resources	
3) Diploma Policies	
4) Curriculum Policies	
5) Overview of Departments	
2. 担当教員一覧	16
2. Teaching Staff	
3. 履修課程表 (Curriculum Guide)	22
4. 履修の方法と注意	43
4. Methods to Study and Important Points	
5. 热帯水産学国際連携履修プログラム	53
6. 食品管理技術者教育プログラム	56
7. 留学生プログラム	59
7. Foreign Student Programme	
8. 科目一覧 (List of Subject)	64

# 1. 鹿児島大学大学院農林水産学研究科概要

## 1) 概要

本研究科は、国内有数の食料供給地である南九州から東南アジア・南太平洋を視野に、人々の健全な生活基盤である農林水産業・食・環境・生命科学の分野の高度専門教育をおこない、資源の持続的生産とその合理的利用及び環境保全に対応するスペシャリストの養成を目指している。これによって、急速にグローバル化する産業構造の変化、地球規模での環境変動、ならびに地方で特に深刻な労働力人口の激減など、地域と世界が直面する課題の解決に貢献しようとするものである。

## 2) 養成する人材像

農林水産学研究科は、人の健全な生活の基盤である農林水産業、食、環境、生命科学などの分野に関する高度な専門教育を行い、農学及び水産学が取り扱う分野における高度な研究・開発能力を備え、地域に貢献できる人材、さらには世界で活躍できる人材を養成する。

## 3) ディプロマポリシー

農林水産学研究科では、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、審査に合格した者に修士の学位を授与する。

(1) 植物生産科学、畜産科学、地域ビジネス、食品流通、養殖、食品創成に関する生産活動、食と健康、及びそれらの基盤となる地域の環境特性、亜熱帯化、森林管理、防災、水産資源、地域の生物環境の高度な専門知識を有し、課題解決方法の提案やその実現の実践力を持つ。

(2) 農畜林水産業や食品産業における問題を提起し、地域社会において指導的立場での解決方策を示す能力を持つ。

## 4) カリキュラムポリシー

農学、畜産学、森林科学、水産学に関連した高度な知識・技術を修得させるとともに、先端的な実験、実践的な実習及び演習によって地域社会において指導的立場での解決方策を示すことができる実践力養成教育を行う。

## 5) 各専攻の概要

### 【農林資源科学専攻】

#### ① 養成する人材像

農林畜産資源に関する高度な専門教育並びに実践教育と高度な技術・理論を修得し、国際的かつ日本の主要な農業生産地帯である南九州を基盤とした地域社会において、農林畜

産業の振興と発展、問題点抽出とその解決に際して、指導的立場で中心的役割を果たせる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の4コースを設置している。

・植物生産科学コース

農作物・園芸作物の栽培、施肥、土壤診断、病害虫防除法、植物の遺伝的改良に関する高度な専門教育を行い、それを生かして指導的立場で問題解決できる人材、地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題に対して広い視野と国際性を持って取り組める人材を養成する。

・畜産科学コース

高品質家畜の効率的かつ持続可能な生産管理と畜産物の高付加価値化・高度利用技術の開発に關した深い知識と実践的な技術を修得させる専門教育を行い、畜産の振興と発展、国際化等に關わる問題点抽出とその解決に際して、地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

・森林科学コース

生物・生態学的側面からの森林の解明、国土保全、地域防災、水資源涵養、循環的な資源利用・再生産のための保護・管理計画、生産システム・計測技術の高度化、高機能性木質材料の開発、森林・林業に關わる社会経済・政策、林業再生、山村振興に関する高度な専門教育を行い、森林資源の持続的管理に取り組む人材を養成する。

・食料農業経済学コース

グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的な手法による専門的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興及びアグリビジネスに関する高度な知識と実践力を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者を養成する。

②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）の学位を授与する。

・農林畜産資源の生産・加工・消費、環境フィールド、社会連携に關した幅広い知識と高度で実践的な技術

・地域の農林畜産技術の発展と農山村振興に關わる問題点抽出とその解決に際して、地域社会において中心的役割を果たせる能力

【食品創成科学専攻】

① 養成する人材像

農畜水産資源に關する食品学、先端生命科学、応用食品開発学及び加工・保藏学、並びに

焼酎・発酵食品、微生物に関するより高度な専門知識を身につけ、課題解決方法の提起やその実現のための技術を修得した食品・生命科学関連産業における指導的立場での解決能力を示せる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の3コースを設置している。

- ・食品科学コース

地域食品素材が有するタンパク質、脂質、糖質の基本的性質をはじめとして、それらが有する栄養、機能性成分と健康との関わりのみならず、加工特性や保存性、安全性に関する専門教育を行い、食品関連分野及び地域において指導的な立場で活躍できる人材を養成する。

- ・先端生命科学コース

先端的でかつ学際的な生命科学に関する知識と技術を修得し、先端的な生命科学研究を遂行するための専門教育を行い、地域生物資源のリスクとベネフィットの関係性を理解したうえで、その利活用ができる能力を有する人材を養成する。

- ・焼酎発酵・微生物科学コース

微生物をはじめとした生物機能の利用に関する専門教育を行い、これらの知識と技術を身につけ、食に関係する分野及び地域産業として特色のある焼酎、発酵食品産業で活躍できる人材を養成する。

## ②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）、修士（水産学）のいずれかの学位を授与する。

### 修士（農学）

- ・農産物を中心とした農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学および加工・保藏学、ならびに焼酎・発酵食品に関するより高度な専門知識
- ・課題解決方法の提案やその実現のための技術修得
- ・食品・生命科学関連産業における問題の提起と指導的立場での解決能力

### 修士（水産学）

- ・水産物を中心とした農畜水産資源に関する食品学、先端生命科学、応用食品開発学および加工・保藏学、ならびに焼酎・発酵食品に関するより高度な専門知識
- ・課題解決方法の提案やその実現のための技術
- ・食品・生命科学関連産業における問題の提起と指導的立場での解決能力

専攻内の各コースで授与する学位の種類は次のとおりとし、食品科学コースと先端生命科学コースにおいてどちらの学位を授与するかは、学生の研究分野と修得科目を基に決定す

る。

食品科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

先端生命科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

焼酎発酵・微生物科学コース：修士（農学）

### 【環境フィールド科学専攻】

#### ① 養成する人材像

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候、環境、災害、生物資源、及びそれらの関連性を理解するための高度な科学的知識、さらに、当該地域の環境保全、生産環境・基盤に関する実践的知識と先進技術を身につけ、これらに関わる問題点の抽出とその解決策の提案を通して地域の一次産業の振興に貢献し、地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の2コースを設置している。

##### ・生物環境科学コース

黒潮の影響を強く受けた南西諸島と南九州周辺の環境特性及び生物に与える影響に関する科学的知識と高度な調査技術を身につけ、地域環境の監視、生物資源の活用と生物相の保全について実践的に取り組むことができる人を養成する。

##### ・環境システム科学コース

南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候・環境・災害に関する科学的知識を身につけ、それらの知識とフィールドデータセンシングやロボットなどの先進技術に基づき、地域環境の保全、地域資源の活用、農業生産基盤の整備、農業気象災害のリスク評価及びその軽減について実践的に取り組むことができる人を養成する。

#### ②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（農学）、修士（水産学）のいずれかの学位を授与する。

##### 修士（農学）

- ・陸域を中心とする気候変動と地域の環境、保全と防災、地域の生物環境保全に関し幅広い知識と高度で実践的な技術
- ・当該地域の環境保全、防災・減災に関わる問題点の抽出とその解決に際して、地域社会において中心的役割を果たせる能力

##### 修士（水産学）

- ・海域を中心とする気候変動と地域の環境、保全と防災、地域の生物環境保全に関し幅広い知識と高度で実践的な技術
- ・当該地域の環境保全、防災・減災に関わる問題点の抽出とその解決に際して、地域社会

において中心的役割を果たせる能力

専攻内の各コースで授与する学位の種類は次のとおりとし、どちらの学位を授与するかは、学生の研究分野と修得科目を基に決定する。

生物環境科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

環境システム科学コース：修士（農学）または修士（水産学）

#### 【水産資源科学専攻】

##### ① 養成する人材像

水産政策学、水産流通学、資源生物学、資源生産学、増養殖学、環境保全学に関わる専門教育を行い、水産業を取り巻く社会経済、資源、漁業技術、増養殖技術、漁場環境に関わる多様な課題やその課題に対する改善アプローチについての総合的かつ専門的理解を持ち、地域や国際社会で水産業の発展に活躍できる人材を養成する。

このような人材を育成するため、以下の4コースを設置している。

###### ・生物資源科学コース

水産資源生物の持続的な開発への貢献を目指し、資源生物の分布や再生産に関わる生態、資源生物の行動メカニズムの理解と漁業技術への応用、選択的漁獲技術、漁労活動の省力・省エネ化、音響機器による資源計測・評価、フィールド調査法、データ分析法に関する専門教育を行う。水産資源生物や漁業技術に関わるグローバルな専門知識を備え、資源の持続的利用の実現に貢献できる人材を養成する。

###### ・増養殖学コース

増養殖は水産資源の持続的な維持増大に大きく貢献する手法である。増養殖学コースは、豊かな養殖漁場を持つ南九州海域及び陸水域を学びの場として、増養殖に必要な生殖技術、種苗生産、栄養・飼料、魚病・免疫に関する専門教育を学際的及び実践的な視点から実施する。これにより、国際的水準の知識と技術を修得し、国内外の増養殖産業における課題を解決できる、高度な専門性を備えた水産技術者を養成する。

###### ・環境保全学コース

水圏生物資源生産の場としての漁場環境の保全を目的として、化学物質による水圏環境の汚染と水圏資源生物や水圏生態系に対する影響評価、漁場の富栄養化と赤潮、これら諸問題の解決法に関する高度な専門的知識、現場調査法、高度機器を用いた汚染物質や生体高分子物質の分析法と関連するデータベースの利用法を教育し、水圏汚染環境の修復やその影響を受ける水圏生物資源生産・活用の場で活躍できる人材を養成する。

###### ・流通・政策学コース

「水産業が他産業では代替できない貴重な食料供給産業であり、国民経済上ならびに南九州の地方創生を考える上で不可欠な存在である」との認識を基礎として、水産資源と漁場の合理的利用、水産業を核とする地域活性化、水産業の安定的発展と水産政策、水産物の

流通と加工、水産物の消費とマーケティングに関する高度な専門教育を行う。流通・政策をデータに基づき分析する研究能力を持ち、水産振興による地域創生を実現するための流通モデル・経営モデル・政策モデルを開発することにより消費者ニーズに適合した水産物供給を支援することが出来る人材を養成する。

## ②ディプロマポリシー

所定の単位数を修得した上で修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格し、下記の資質・能力を身につけた学生に対して修士（水産学）の学位を授与する。

- ・資源生産環境の保全に関する高度な知識を踏まえ、養殖・水産資源管理・漁場保全等の水産現場における新技術の開発や、経営・流通・政策についてデータに基づく分析をおこなう能力
- ・水産振興による地域創生を実現するために、消費者ニーズに適合した水産物生産を支援する能力

## 1. Outline of The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries

### 1) Overview

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries provides highly specialized education in the various fields which support the sound living of human communities. These include agriculture, forestry and fisheries, food science, environmental and life sciences. The School aims to develop specialists in the southern Kyushu area, which is a significant food supplier in Japan, as well as Southeast Asia extending to the South Pacific. The goal for students is to make a difference in the sustainable production of resources, their rational use and environmental conservation. In doing so, the School aims to contribute to solving the pressing issues which local communities and the world are facing, such as rapid changes in the globalization of industries, global climate change and the sharp drop in the productive human population, a problem which is particularly serious in rural communities.

### 2) Our Image of Human Resources

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries provides professional education in the fields of agriculture, forestry and fisheries, food science, environmental and life sciences, which support the sound living of human communities. The school aims to train human resources who can contribute to high-level research in the sciences of agriculture and fisheries, improve the communities they live in and eventually play an active part in the improvement of the world.

### 3) Diploma Policies

The Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries awards a master's degree to those who have acquired the following capabilities, been awarded the credits required for graduation and passed a thesis examination.

1. Advanced specialized knowledge in plant production science, animal science, regional business, food distribution, aquaculture, production activities relating to food innovation, food and health, regional environmental characteristics supporting food and health, sub-tropicalisation, forest management, disaster reduction, fisheries resources and the regional biological environment and the practical capabilities for proposing solutions and implementing them.
2. Capabilities to solve issues in agriculture, livestock, forestry, fisheries and food industries and take a leadership role in local communities to propose solutions.

#### 4) Curriculum Policies

The School teaches advanced knowledge and skills in the science of agriculture, livestock science, forestry science and fisheries science and develops practical capability through advanced experiments, on-the-job and practical training, to enable students to recommend solutions from a leadership position in local communities.

#### 5) Overview of Departments

##### 【Agriculture, Natural Resources and Forestry】

###### ① Our Image of Human Resources

Persons who have undergone advanced professional/practical education and acquired advanced techniques/theories in agriculture, forestry and livestock resources and have the capability to take a leadership position and play a central role in the promotion and development of agriculture, forestry and livestock industries as well as identify problems and solve them in local communities in southern Kyushu, which is a major international and domestic farm producer.

To develop these human resources, the following four Courses are offered:

###### • Plant Production Science

The Course provides advanced professional education in plant production science including agronomy, horticultural science, plant nutrition, soil science, pest control and genetic improvements. In addition, the course develops human resources who utilize what they have learned in solving problems from a leadership position and who apply a broad viewpoint and have an international sense in dealing with problems of agricultural production arising from environmental changes such as global warming.

###### • Animal Science

The Course provides in-depth knowledge relating to efficient and sustainable production management of high-quality livestock and development of high-value-added livestock products/advanced utilization techniques and offers professional education to enable students to acquire practical skills to play a central role in local communities in identifying and solving problems regarding promotion, development and internationalization of the livestock industry.

###### • Forest Management

The Course provides advanced professional education on subjects relating to studying forests from a biological/ecological viewpoint, land conservation, community disaster reduction, water resources conservation. In addition, the course teaches how to develop protection/management plans for cyclical resource utilization/reproduction, sophistication of production system/measurement techniques, development of highly functional wood-based materials, socioeconomic policies relating to forests and forestry,

restoration of forestry and revitalization of forestry communities to develop human resources who work on sustainable management of forestry resources.

- Food and Agricultural Economics

The Course provides by means of social science methods for professional education in subjects relating to the rapidly globalizing food industry, agriculture and agricultural communities. The goal is to develop local leaders, policymakers and agribusiness managers who possess advanced knowledge and practical skills in food/agriculture issues, local revitalization and agribusiness.

## ②Diploma Policies

The Master's degree (Agronomy) shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation and have passed a thesis examination or screening of their research results on a specific theme and have the following credentials/capabilities.

- A broad knowledge of, and sophisticated and practical skills in the production, processing and consumption of agricultural, forestry and livestock resources, as well as in environmental field and social cooperation.
- The capability to play a central role in local communities in identifying and solving problems relating to the development of local agricultural, forestry and livestock techniques and revitalization of farming and forestry communities.

## 【Food Innovation Science】

### ① Our Image of Human Resources

The Department develops human resources who possess advanced professional knowledge in food science of agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development, food processing and preservation science, shochu (distilled alcoholic beverage)/fermented foods and microorganisms, and have the skills to recommend and implement solutions to problems and to take a leading role in dealing with issues in the food and life science industries.

To develop these human resources, the following three Courses are offered.

- Food Science

The Course provides professional education not only on the basic characteristics of the proteins, lipids and carbohydrates contained in locally available food materials and the relationship between their nutritional facts/functional ingredients and health, but also

on processing characteristics, storage stability and safety. The goal of the course is to develop human resources who play a leading role in food-related fields and local communities.

- Advanced Life Science

The Course provides knowledge and skills in the advanced life sciences in an interdisciplinary way and offers the professional education necessary to do research in the advanced life sciences. The goal of the course is to develop human resources capable of comprehending the risk-benefit relationship of local biological resources and use/utilize them.

- Microbiology and Fermentation Technology

The Course provides professional education on the use of microorganisms and other biological resources to enable students to acquire such knowledge and skills so that they develop into human resources who will succeed in food-related fields or characteristic local industries such as shochu or fermented food production.

## ②Diploma Policies

The Master's degree in Agronomy or Fisheries Science shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation, passed the examination on their master's thesis or screening of research outcome on a specific theme and acquired the following credentials/capabilities.

### Master's degree (Agronomy)

- This degree provides more advanced professional knowledge in food science regarding produce and other agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development, food processing and preservation science, and shochu/fermented foods.

To receive the degree, a student must:

- Have mastered skills necessary to recommend and implement solutions to problems.
- Possess the capability to point out problems in industries relating to food, life science, etc. and take a leadership in solving them.

### Master's degree (Fisheries Science)

- This degree provides more advanced professional knowledge in food science regarding marine products and other agricultural, livestock and fisheries resources, advanced life sciences, applied science and technology for food development and food processing and preservation science, and shochu/fermented foods.

To receive the degree, a student must:

- Have mastered skills necessary to recommend and implement solutions to problems.
- Have the capability to point out problems in industries relating to food, life science, etc. and take a leadership in solving them.

Each Course of this Department shall award the following degree. The type of degree awarded shall be decided depending on the research field and the subjects the student has completed.

Food Science: Master's degree (Agronomy) or Master's degree (Fisheries science)

Advanced Life Science: Master's degree (Agronomy) or Master's degree (Fisheries science)

Microbiology and Fermentation Technology: Master's degree (Agronomy)

#### 【Field Environment Science】

##### ① Our Image of Human Resources

The Department provides the advanced scientific knowledge necessary to understand the climate, environment, types of disasters, biological resources unique to the land and sea area surrounding the Nansei Islands and southern Kyushu and the relationships among them in addition to gaining practical knowledge and sophisticated techniques on environmental conservation and agricultural production environment/infrastructure of such localities. The goal is to nurture students into human resources who identify and recommend solutions to the problems regarding these and to contribute to the development of local agriculture while playing a central role in local communities.

To develop these human resources, the following two Courses are offered:

##### • Aquatic Biological Science

The Course provides scientific knowledge and sophisticated survey techniques for determining the environmental characteristics of the area around the Nansei Islands and southern Kyushu that are greatly affected by the Kuroshio Current. In addition, the course investigates the effect that this current has on life, and enables students to work practically on monitoring the local environment, the utilization of biological resources and the conservation of local flora and fauna.

##### • Environmental System Science

The Course provides scientific knowledge about the climate, environment and disasters unique to the land and sea areas of the Nansei Islands and around southern Kyushu to enable students to use such knowledge and obtain advanced field data in sensing and robot technologies, etc. and to work out practical solutions for the conservation of the local environment, utilization of locally available resources, improvement of

agricultural production infrastructure and risk assessment, and mitigation of agricultural meteorological disasters.

## ②Diploma Policies

The Master's degree (Agronomy) or Master's degree (Fisheries Science) shall be awarded to students who have been awarded the credit points required for graduation, passed the examination on their master's thesis or screening of their research outcome on a specific theme and acquired the following credentials/capabilities.

### Master's degree (Agronomy)

- A broad knowledge and advanced and practical skills on the climate change taking place on land and the local environment, conservation and disaster reduction, and conservation of the local biological environment.
- The capability to play a central role in the local communities in the conservation of the local environment, and in the identification and provision of solutions to problems relating to disaster reduction/mitigation.

### Master's degree (Fisheries Science)

- A broad knowledge and advanced as well as practical skills in dealing with the climate change taking place in the waters in the local environment, conservation and disaster reduction, and conservation of the local biological environment.
- The capability to play a central role in local communities in the conservation of the local environment, and in the identification and provision of solutions to problems relating to disaster reduction/mitigation.

Each course of this department shall award the following degree. The type of degree awarded shall be decided depending on the research field and the subjects that the student has completed.

Aquatic Biological Science: Master's degree (Agronomy) or Master's degree (Fisheries Science)

Environmental System Science: Master's degree (Agronomy) or Master's degree (Fisheries Science)

## 【Fisheries Resource Science】

### ① Our Image of Human Resources

The department provides professional education on fishery policy, fishery distribution, biological resource, resource production, aquaculture and environmental conservation. In addition, the department trains human resources who possess a comprehensive and professional understanding about the socioeconomic issues surrounding the fishery industry, various issues relating to its resources, fishing techniques, aquaculture

techniques and the fishing ground environment and the approach to solving these problems and playing an active role locally and internationally in the development of the fisheries industry.

To develop these human resources, the following four Courses are offered:

- Aquatic Bioresource Science and Technology

The course aims to contribute to the sustainable development of fisheries resources and provides professional education on the distribution and reproduction-related habits of these resources, clarification of their behavioral mechanisms and their application to fishing techniques, selective fishing techniques, labor/energy-saving in fishing activities, resource measurement/assessment by means of acoustic equipment, field surveying and data analysis methods. The Course trains human resources who will possess globally competitive professional knowledge in the management of fishery resources and fishing techniques, and who contribute to materializing the sustainable use of these resources.

- Aquaculture

Aquaculture contributes greatly to the maintenance and sustained increase in fisheries resources. The course uses both coastal and inland waters of southern Kyushu as the location for learning, because this area has numerous productive aquaculture facilities. In addition, the course provides, in an interdisciplinary and practical way, professional education on reproductive technology, seed production, nutrition and feed development, and fish diseases/immunity treatment required for aquaculture. In doing so, the course develops highly professional fisheries technicians who have acquired internationally competitive knowledge and techniques and have the capability to solve domestic and international problems relating to the aquaculture industry.

- Environmental and Conservation Sciences

With the purpose of protecting the fishing ground environment where aquatic biological resources are produced, the course provides advanced knowledge on the chemical pollution of the aquatic environment, impact assessments of aquatic biological resources and aquatic ecosystems, eutrophication of fishing grounds and algae blooms, advanced professional knowledge about the solutions of these problems, field surveying methods, methods for analyzing pollutants and biological high-molecular-weight substances using advanced equipment and usage of relating databases. The goal is to train human resources who will play an active role in the recovery of polluted aquatic environments and the production/utilization of affected aquatic biological resources.

- Marketing and Management in Fisheries

Fisheries cannot be replaced by any other industry, because it supplies the essential food products and therefore is an indispensable element of the Japanese economy and critical in revitalizing the economy of southern Kyushu. Based on this recognition, the course provides advanced professional education on the rational use of fisheries resources and fishing grounds, local revitalization primarily through fisheries, stable development of the fisheries industry and policymaking, distribution and processing, and consumption and marketing of marine products. The course trains personnel who will possess research capabilities in data-based analysis on distribution/policy and can develop distribution, management and policy models so that the fisheries industry will promote local revitalization by supplying marine products to meet consumer needs.

## ② Diploma Policies

The Master's degree (in Fishery Science) shall be awarded to students who have earned the credit points required for graduation and have passed a thesis examination or screening of their research results on a specific theme and have the following credentials/capabilities.

- The capability to develop new technologies in aquaculture, fisheries resource management and fishing ground protection, as well as sufficient knowledge to analyze management data, distribution data and policies, all based on advanced knowledge of the conservation of the resource production environment.
- The capability to support the production of marine products to meet consumer demand and to succeed in local revitalization through the promotion of fishery.

## 2. 担当教員一覧

### 2. Teaching Staff

## 1. 担当教員一覧

平成31年4月1日現在

### 農林資源科学専攻

植物生産科学	教授 遠城 道雄 教授 境 雅夫 教授 坂上 潤一 教授 志水 勝好 教授 田浦 悟 (遺伝子実験施設) 教授 津田 勝男 教授 橋本 文雄 教授 山本 雅史	准教授 池永 誠 准教授 一谷 勝之 准教授 坂巻 祥孝 准教授 清水 圭一 准教授 下田代 智英 准教授 角 明夫 准教授 桜木 直也 准教授 朴 炳宰 准教授 吉田 理一郎	講師 香西 直子 助教 赤木 功
畜産科学	教授 大塚 彰 教授 岡本 新 教授 後藤 貴文 教授 中西 良孝 教授 三好 和睦	准教授 井尻 大地 准教授 大久津 昌治 准教授 大島 一郎 准教授 下桐 猛 准教授 高山 耕二	助教 河邊 弘太郎 (共通教育センター)
森林科学	教授 岡 勝 教授 地頭菌 隆 教授 寺岡 行雄 教授 西野 吉彦 教授 枝田 邦宏	准教授 井倉 洋二 准教授 鵜川 信 准教授 加治佐 剛 准教授 寺本 行芳 准教授 畑 邦彦	助教 奥山 洋一郎 助教 榎村 奈緒子
食料農業経済学	教授 田代 正一 教授 豊 智行	准教授 坂井 教郎 准教授 李 哉汎	助教 大住 あづさ

### 食品創成科学専攻

食品科学	教授 イブラヒム ヒッシャム 教授 上西 由翁 教授 侯 德興	准教授 加藤 早苗 准教授 紙谷 喜則 准教授 進藤 謙 准教授 濱中 大介 准教授 宮田 健 准教授 渡部 由香	助教 坂尾 こず枝
先端生命科学	教授 安部 淳一 教授 北原 兼文 教授 小松 正治	准教授 岡本 繁久 准教授 塩崎 一弘 准教授 内匠 正太 准教授 花城 熱 准教授 藤田 清貴 准教授 南 雄二 准教授 MCMフェスターガート	講師 加治屋 勝子 講師 山田 章二
焼酎発酵・微生物科学	教授 石橋 松二郎 教授 高峯 和則 教授 玉置 尚徳	准教授 中村 正幸 准教授 二神 泰基 准教授 吉崎 由美子	特任助教 奥津 果優 助教 鶴丸 博人

### 環境フィールド科学専攻

生物環境科学	教授 寺田 竜太(連大)	准教授 久米 元	助教 遠藤 光
	教授 本村 浩之(博物館)	准教授 小針 統	
	教授 山本 智子		

環境システム科学	教授 重廣 律男	准教授 伊藤 祐二	助教 末吉 武志
	教授 芝山 道郎	准教授 神田 英司	助教 須本 祐史
	教授 中村 啓彦	准教授 肥山 浩樹	助教 仁科 文子
	教授 西 隆一郎		助教 平 瑞樹
	教授 粕井 和朗		

### 水産資源科学専攻

生物資源科学	教授 安樂 和彦	准教授 石崎 宗周	
	教授 大富 潤	准教授 江幡 恵吾	
	教授 バスケスA ミゲル	准教授 西 隆昭	
		准教授 土井 航	
		准教授 山中 有一	

増養殖学	教授 石川 学	准教授 田角 聰志	助教 横山 佐一郎
	教授 小谷 知也		
	教授 山本 淳		

環境保全学	教授 宇野 誠一		助教 奥西 将之
	教授 前田 広人		助教 國師 恵美子
	教授 吉川 穀		

流通・政策学	教授 佐久間 美明	准教授 久賀 みず保	
	教授 佐野 雅昭	准教授 鳥居 享司	

### 附属練習船

かごしま丸	教授 内山 正樹		講師 東 隆文
			助教 福田 隆二
			助教 有田 洋一
			助教 三橋 廷央

南星丸		准教授 幅野 明正
-----	--	-----------

### グローバル教育推進プロジェクト

	助教 鬼頭 景子
--	----------

## 1. Teaching Staff

April 1, 2019

### Agriculture, Natural Resources and Forestry

Plant Production Science	Professor	ONJO Michio	Associate Professor IKENAGA Makoto	Lecturer	KOZAI Naoko
	Professor	SAKAI Masao	Associate Professor ICHITANI Katsuyuki	Assistant Professor	AKAGI Isao
	Professor	SAKAGAMI Jun-Ichi	Associate Professor SAKAMAKI Yositaka		
	Professor	SHIMIZU Katsuyoshi	Associate Professor SHIMIZU Keiichi		
	Professor	TAURA Satoru	Associate Professor SHIMOTASHIRO Tomohide		
	Professor	TSUDA Katsu	Associate Professor SUMI Akio		
	Professor	HASHIMOTO Fumio	Associate Professor CHISHAKI Naoya		
Animal Science	Professor	YAMAMOTO Masashi	Associate Professor PARK Byoung-Jae		
			Associate Professor YOSHIDA Riichiro		
	Professor	OHTSUKA Akira	Associate Professor IJIRI Daichi	Assistant Professor	KAWABE Kotaro
	Professor	OKAMOTO Shin	Associate Professor OOKUTSU Shoji		
	Professor	GOTOH Takafumi	Associate Professor OSHIMA Ichiro		
Forest Management	Professor	NAKANISHI Yoshitaka	Associate Professor SHIMOGIRI Takeshi		
	Professor	MIYOSHI Kazuchika	Associate Professor TAKAYAMA Koji		
	Professor	OKA Masaru	Associate Professor INOKURA Youji	Assistant Professor	OKUYAMA Yoichiro
	Professor	JITOUSHONO Takashi	Associate Professor UGAWA Shin	Assistant Professor	EIMURA Naoko
	Professor	TERAOKA Yukio	Associate Professor KAJISA Tsuyoshi		
Food and Agricultural Economics	Professor	NISHINO Yoshihiko	Associate Professor TERAMOTO Yukiyo		
	Professor	HIRATA Kunihiro	Associate Professor HATA Kunihiro		
Food Innovation Science	Professor	TASHIRO Syoichi	Associate Professor SAKAI Norio		
	Professor	YUTAKA Tomoyuki	Associate Professor LEE Jachyeon	Assistant Professor	OSUMI Azusa
Food Science	Professor	IBRAHIM Hisham	Associate Professor KATO Sanae	Assistant Professor	SAKAO Kozue
	Professor	KAMINISHI Yoshio	Associate Professor KAMITANI Yoshinori		
	Professor	HOU De-Xing	Associate Professor SHINDO Jo		
			Associate Professor HAMANAKA Daisuke		
			Associate Professor MIYATA Takeshi		
			Associate Professor WATANABE Yuka		
Advanced Life Science	Professor	ABE Jun-ichi	Associate Professor OKAMOTO Shigehisa	Lecturer	KAJIYA Katsuko
	Professor	KITAHARA Kanefumi	Associate Professor SHIOZAKI Kazuhiro	Lecturer	YAMADA Shoji
	Professor	KOMATSU Masaharu	Associate Professor TAKUMI Shota		
			Associate Professor HANASHIRO Isao		
			Associate Professor FUJITA Kiyotaka		
			Associate Professor MINAMI Yuji		
			Associate Professor VESTERGAAD Mun'delanji C.		
Microbiology and Fermentation Technology	Professor	ISHIBASHI Matsujiro	Associate Professor NAKAMURA Masayuki	Assistant Professor	OKUTSU Kayu
	Professor	TAKAMINE Kazunori	Associate Professor FUTAGAMI Taiki	Assistant Professor	TSURUMARU Hirohito
	Professor	TAMAKI Hisanori	Associate Professor YOSHIZAKI Yumiko		

## Field Environment Science

Aquatic Biological Science	Professor	TERADA Ryuta	Associate Professor KUME Gen	Assistant Professor ENDO Hikaru
	Professor	MOTOMURA Hiroyuki	Associate Professor KOHARI Toru	
	Professor	YAMAMOTO Tomoko		
Environmental System Science	Professor	SHIGEHIRO Ritsuo	Associate Professor ITO Yuji	Assistant Professor SUEYOSHI Takeshi
	Professor	SHIBAYAMA Michio	Associate Professor KANDA Eiji	Assistant Professor SUMOTO Hirofumi
	Professor	NAKAMURA Hirohiko	Associate Professor HIYAMA Hiroki	Assistant Professor NISHINA Ayako
	Professor	NISHI Takaaki		Assistant Professor HIRA Mizuki
	Professor	MOMII Kazuro		

## Fisheries Resource Science

Aquatic Bioresource Science and Technology	Professor	ANRAKU Kazuhiko	Associate Professor ISHIZAKI Munechika	Assistant Professor YOKOYAMA Saichiro
	Professor	OHTOMI Jun	Associate Professor EBATA Keigo	
	Professor	Archdale Miguel	Associate Professor NISHI Takaaki	
	Professor	Federico VAZQUEZ	Associate Professor DOI Wataru	
			Associate Professor YAMANAKA Yuichi	
Aquaculture	Professor	ISHIKAWA Manabu	Associate Professor TASUMI Satoshi	
	Professor	KOTANI Tomonari		
	Professor	YAMAMOTO Atsushi		
Environmental and Conservation Sciences	Professor	UNO Seiichi		Assistant Professor OKUNISHI Suguru
	Professor	MAEDA Hiroto		Assistant Professor KOKUSHI Emiko
	Professor	YOSHIKAWA Takeshi		
Marketing and Management in Fisheries	Professor	SAKUMA Yoshiaki	Associate Professor KUGA Mizuho	
	Professor	SANO Masaaki	Associate Professor TORII Takashi	

## Trainig Vessel

Kagoshima-maru	Professor	UCHIYAMA Masaki	Associate Professor HABANO Akimasa	Lecturer AZUMA Takafumi
				Assistant Professor FUKUDA Ryuji
				Assistant Professor ARITA Yoichi
				Assistant Professor MITSUHASHI Takahisa

Nansei-maru

## Grobal education Project

Assistant Professor KITO Keiko



### **3. 履修課程表 Curriculum Guide**

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)

植物生産科学コース (Plant Production Science)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 専攻共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学倫理特論 (Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry)	池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 I (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 II (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 III (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎
	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、櫻木直也、赤木功
コース	2期	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	植物生産科学特別講義 (Special Lecture for Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、坂上潤一、角明夫、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、清水圭一、香西直子、津田勝男、坂巻祥孝、下代智英、境雅夫、櫻木直也、赤木功
	1・2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	植物生産科学特別演習 (Seminar in Plant Production Science)	一谷勝之、下代智英、角明夫、吉田理一郎、清水圭一、朴炳宰、櫻木直也、香西直子、坂巻祥孝、田浦悟、赤木功、坂上潤一、境雅夫、津田勝男、橋本文雄、遠城道雄、池永誠、志水勝好、山本雅史

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	植物生産科学実習2 (Practical training in Plant Production Science 2)	一谷勝之、志水勝好、坂上潤一、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、遠城道雄、境雅夫、下田代智英、角明夫、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、篠村奈緒子
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、板尾ごう枝

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡惠吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	6単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)  
畜産科学コース (Animal Science)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 ・ 専攻 共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学倫理特論 (Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry)	池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉泓、坂井教師
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 I (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉泓、坂井教師
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 II (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉泓、坂井教師
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 III (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻祥孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉泓、坂井教師
コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治 後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎
	1~4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	畜産科学特別実験 (Advanced Laboratory in Animal Science)	大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉泓、坂井教師
	1~4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	畜産科学特別演習 (Advanced Seminar in Animal Science)	大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎

選択必修科目(Compulsory Elective)

以下の科目から6単位を修得すること (Six credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、櫻木直也、赤木功	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、板尾こず枝	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 (Environmental System Science)	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡惠吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	6単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	4単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)  
森林科学コース (Forest Management)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 専攻共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則	2
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅	2
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学倫理特論 (Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry)	池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、牧田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	1
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 I (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、牧田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	3
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 II (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、牧田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	4
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 III (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、牧田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	2
コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦 (コース教務委員)	2
	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林科学特別実験 (Advanced Experiment in Forest Science)	畠邦彦 (コース教務委員)	2
	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林科学特別演習 (Advanced Seminar in Forest Science)	畠邦彦 (コース教務委員)	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20単位	
選択科目 (Elective)	10単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主旨導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)  
食料農業経済学コース (Food and Agricultural Economics)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 専攻共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則	2
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅	2
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学倫理特論 (Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry)	池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	1
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 I (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	3
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 II (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	4
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 III (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III)	志水勝好、坂上潤一、遠城道雄、田浦悟、山本雅史、橋本文雄、津田勝男、境雅夫、下田代智英、角明夫、一谷勝之、朴炳宰、吉田理一郎、清水圭一、坂巻洋孝、池永誠、櫻木直也、香西直子、赤木功、大塚彰、岡本新、後藤貴文、中西良孝、三好和睦、井尻大地、大久津昌治、大島一郎、下桐猛、高山耕二、河邊弘太郎、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、畠邦彦、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、田代正一、豊智行、李哉法、坂井教郎	2
コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
	1・2期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	地域創生・食産業マネジメントプログラム (Program for Local Revitalization and Agri-Food Industry Management)	坂井教郎、豊智行、李哉法、奥山洋一郎	8
	1~4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	アグリフードビジネス特別演習 (Advanced Seminar in Agri-Food Business)	坂井教郎、李哉法、豊智行、田代正一、大住あずさ	4

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	28単位	
選択科目 (Elective)	2単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主旨導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

## 食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)

### 必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科・専攻共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	食品創成科学倫理特論 (Research Ethics in Food Innovation Science)	イフリム ヒヅヤム ノドリ、侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝、安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、ムデラジン キヤカリ ムキンジエフスマガード、加治屋勝子、山田章二、石橋松二郎、高峯和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	食品創成科学特別研究 I (Special Research in Food Innovation Scinece I)	イフリム ヒヅヤム ノドリ、侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝、安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、ムデラジン キヤカリ ムキンジエフスマガード、加治屋勝子、山田章二、石橋松二郎、高峯和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	食品創成科学特別研究 II (Special Research in Food Innovation Scinece II)	イフリム ヒヅヤム ノドリ、侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝、安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、ムデラジン キヤカリ ムキンジエフスマガード、加治屋勝子、山田章二、石橋松二郎、高峯和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	食品創成科学特別研究 III (Special Research in Food Innovation Scinece III)	イフリム ヒヅヤム ノドリ、侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝、安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、ムデラジン キヤカリ ムキンジエフスマガード、加治屋勝子、山田章二、石橋松二郎、高峯和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人
	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、坂尾こず枝
	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二
	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優

### 食品科学コース必修 (Compulsory Subjects for students in the Food Science Course)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	食品科学特別講義 (Special lecture for Food Science)	侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝
	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	食品科学特別演習 (Seminar in Food Science)	侯徳興、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、坂尾こず枝

### 先端生命科学コース必修 (Compulsory Subjects for students in the Advanced Life Science Course)

2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	先端生命科学特別講義 (Special lecture for Advanced Life Science)	安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、MCMフェスカード、加治屋勝子、山田章二	2
1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	先端生命科学特別演習 (Seminar in Advanced Life Science)	安部淳一、北原兼文、小松正治、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、MCMフェスカード、加治屋勝子、山田章二	2

### 焼酎発酵・微生物科学コース必修科目 (Compulsory Subjects for students in the Microbiology and Fermentation Technology Course)

2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	焼酎発酵・微生物科学特別講義 (Special lecture for Microbiology and Fermentation Technology)	高峰和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人	2
1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	焼酎発酵・微生物科学特別演習 (Seminar in Microbiology and Fermentation Technology)	高峰和則、玉置尚徳、岩井久、二神泰基、吉崎由美子、中村正幸、奥津果優、鶴丸博人	2

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、鶴木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭箇隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡恵吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	食品科学 (Food Science)	先端生命科学 (Advanced Life Science)	焼酎発酵・微生物科学 (Microbiology and Fermentation Technology)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	24単位	24単位	24単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	2単位	2単位	2単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目(Elective)	4単位	4単位	4単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	30単位	30単位	

環境フィールド科学専攻 (Field Environment Science)  
生物環境科学コース (Aquatic Biological Science)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則	2
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅	2
専攻共通	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学倫理特論 (Research Ethics in Field Environment Science)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、糸井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	1
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 I (Special Research on Field Environment Science I)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、糸井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	3
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 II (Special Research on Field Environment Science II)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、糸井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	4
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 III (Special Research on Field Environment Science III)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、糸井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	2
コース	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	生物環境科学特別講義 (Special Lecture for Aquatic Biology)	寺岡竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光	2

選択必修科目a (Compulsory Elective a)

a) 以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、櫻木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村泰緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、板尾二子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 (Environmental System Science)	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡恵吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

選択必修科目c (Compulsory Elective c)

c) 以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
2b期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	畜産科学特別実習 (Practice in Livestock Farm)	大島一郎	1
1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	演習林特別実習 (Advanced Practice in Experimental Forest)	岡勝、井倉洋二	1
1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	沿岸域乗船実習 (大学院) (On-board Training in Coastal Area)	福野明正、寺岡竜太、本村浩之、山本智子、中村啓彦、大富潤、前田広人、吉川毅、小針統、久米元、安樂和彦、石崎宗周、江幡恵吾、西隆昭、山中有一、遠藤光、須本祐史、仁科文子、奥西将之	1
2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	外洋域乗船実習 (On-board Training of Oceanographic Observation)	中村啓彦、小針統、仁科文子	1
1期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	フィールド計測実習 (Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation)	肥山浩樹、糸井和朗、伊藤祐二、神田英司、平瑞樹	1

修得すべき単位数

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18単位	
選択必修科目 a (Compulsory Elective a)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。
選択必修科目 c (Compulsory Elective c)	2単位	A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects."
選択科目 (Elective)	6単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

環境フィールド科学専攻 (Field Environment Science)  
環境システム科学コース (Environmental System Science)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則	2
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅	2
専攻共通	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学倫理特論 (Research Ethics in Field Environment Science)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、親井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	1
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 I (Special Research on Field Environment Science I)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、親井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	3
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 II (Special Research on Field Environment Science II)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、親井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	4
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 III (Special Research on Field Environment Science III)	寺田竜太、本村浩之、山本智子、小針統、久米元、遠藤光、芝山道郎、親井和朗、重廣律男、中村啓彦、西隆一郎、神田英司、伊藤祐二、肥山浩樹、須本祐史、仁科文子、末吉武志、平瑞樹、	2
コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2

選択必修科目a (Compulsory Elective a)

a) 以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻洋孝、境雅夫、池永誠、木村直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮健、渡部由香、加藤早苗、板尾二郎	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塩崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡恵吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

選択必修科目b (Compulsory Elective b)

b) 以下の科目から2単位を修得すること (Two credits are required from the following subjects.)

2期	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	解析学特別講義 (Special Lecture for Mathematical Analysis)	神田英司、中村啓彦、糸井和朗、重廣律男	2
2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	ICT・ロボット技術特別講義 (Special Lecture for ICT and Robotics)	須本祐史、西隆一郎、芝山道郎、末吉武志、平瑞樹	2

選択必修科目c (Compulsory Elective c)

c) 以下の科目から1単位を修得すること (One credits are required from the following subjects.)

2b期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	畜産科学特別実習 (Practice in Livestock Farm)	大島一郎	1
1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	演習林特別実習 (Advanced Practice in Experimental Forest)	岡勝、井倉洋二	1
1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	沿岸域乗船実習 (大学院) (On-board Training in Coastal Area)	幅野明正、寺岡竜太、本村浩之、山本智子、中村啓彦、大富潤、前田広人、吉川毅、小針統、久米元、安樂和彦、石崎宗周、江幡恵吾、西隆昭、山中有一、遠藤光、須本祐史、仁科文子、奥西将之	1
2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	外洋域乗船実習 (On-board Training of Oceanographic Observation)	中村啓彦、小針統、仁科文子	1
1期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	フィールド計測実習 (Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation)	肥山浩樹、糸井和朗、伊藤祐二、神田英司、平瑞樹	1

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	16単位	
選択必修科目 a (Compulsory Elective a)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択必修科目 b (Compulsory Elective b)	2単位	
選択必修科目 c (Compulsory Elective c)	1単位	
選択科目 (Elective)	7単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)  
生物資源科学コース (Aquatic Bioresource Science and Technology)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 ・ 専攻 共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学倫理特論 (Research Ethics in Fisheries Resource Science)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 I (Special Research on Fisheries Resource Science I)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 II (Special Research on Fisheries Resource Science II)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 III (Special Research on Fisheries Resource Science III)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
コース	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスクスミゲル、安樂和彦、江幡惠吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航
	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	生物資源科学特別講義 (Special Lecture for Aquatic Bioresource Science and Technology)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、石川直子、坂巻洋孝、境雅夫、池永誠、櫻木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信一、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮木奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、板尾こず枝	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平端樹、末吉武志、須本祐史	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)  
増養殖コース (Aquaculture)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 ・ 専攻 共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学倫理特論 (Research Ethics in Fisheries Resource Science)	大富潤、ハヌス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 I (Special Research on Fisheries Resource Science I)	大富潤、ハヌス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 II (Special Research on Fisheries Resource Science II)	大富潤、ハヌス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 III (Special Research on Fisheries Resource Science III)	大富潤、ハヌス アーティル ミケル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
コース	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志
	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	増養殖学特別講義 (Special Lecture for Aquaculture)	石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎
	1~4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	増養殖学特別実習 (Practical Training of Aquaculture)	石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角 明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、樗木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、板尾こず枝	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠 正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡恵吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	20単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	6単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)  
環境保全コース (Environmental and Conservation Sciences)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)	
研究科・ 専攻共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則	2	
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅	2	
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学倫理特論 (Research Ethics in Fisheries Resource Science)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェザリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司	1	
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 I (Special Research on Fisheries Resource Science I)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェザリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司	3	
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 II (Special Research on Fisheries Resource Science II)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェザリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司	4	
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 III (Special Research on Fisheries Resource Science III)	大富潤、バスクス アーティル ミケル フェザリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中有一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司	2	
	コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2
	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	環境保全学特別講義 (Special Lecture for Environmental and Conservation Sciences)	宇野誠一、國師恵美子、前田広人、吉川毅、奥西将之	2	

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角 明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、樺木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚義、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村泰緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤謙、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、板尾二 <sup>二</sup> 枝	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠 正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平瑞樹、末吉武志、須本祐史	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡恵吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	

水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)  
流通・政策学コース (Marketing and Management in Fisheries)

必修科目 (Compulsory Subjects)

	期 (Term)	科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
研究科 ・ 専攻 共通	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	食料生産における技術イノベーションと地域創生 (Innovation in Food Production and Local Community Restructure)	橋本文雄、豊智行、三好和睦、小谷知也、小松正治、侯徳興、高峰和則
	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	環境変動に対応した防災と持続的一次産業 (Disaster Control and Sustainable Primary Industry adapting to Environmental Change)	中村啓彦、地頭菌隆、山本智子、遠城道雄、安樂和彦、吉川毅
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学倫理特論 (Research Ethics in Fisheries Resource Science)	大富潤、バスクス アーティル ジャル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 I (Special Research on Fisheries Resource Science I)	大富潤、バスクス アーティル ジャル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 II (Special Research on Fisheries Resource Science II)	大富潤、バスクス アーティル ジャル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 III (Special Research on Fisheries Resource Science III)	大富潤、バスクス アーティル ジャル フェデリコ、安樂和彦、石崎宗周、江幡惠吾、西隆昭、山中一、土井航、石川学、山本淳、小谷知也、田角聰志、横山佐一郎、前田広人、吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、奥西将之、佐久間美明、佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司
コース	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、鳥居享司、佐久間美明
	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	水産流通・政策学特別講義 (Special Lecture for Marketing and Management in Fisheries)	佐野雅昭、久賀みず保、鳥居享司、佐久間美明

選択必修科目 (Compulsory Elective)

以下の科目から4単位を修得すること (Four credits are required from the following subjects.)

1期	基礎特論 (Basic Lecture)	植物生産科学基礎特論 (Plant Production Science)	一谷勝之、田浦悟、志水勝好、角明夫、遠城道雄、朴炳宰、吉田理一郎、橋本文雄、山本雅史、香西直子、坂巻祥孝、境雅夫、池永誠、樺木直也、赤木功	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	畜産科学基礎特論 (Animal Science)	大塚彰、井尻大地、岡本新、下桐猛、中西良孝、高山耕二、三好和睦、大久津昌治、後藤貴文、大島一郎、河邊弘太郎	2
1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	森林科学基礎特論 (Forest Science)	畠邦彦、枚田邦宏、岡勝、寺岡行雄、西野吉彦、地頭菌隆、鶴川信、加治佐剛、寺本行芳、井倉洋二、奥山洋一郎、榮村奈緒子	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	田代正一	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	加藤早苗、上西由翁、紙谷喜則、進藤譲、濱中大介、宮田健、渡部由香、加藤早苗、板尾二郎	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	北原兼文、安部淳一、岡本繁久、塙崎一弘、内匠正太、花城勲、藤田清貴、南雄二、加治屋勝子、山田章二	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	高峰和則、玉置尚徳、石橋松二郎、中村正幸、吉崎由美子、二神泰基、鶴丸博人、奥津果優	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	小針統、久米元、山本智子、遠藤光	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 Environmental System Science	中村啓彦、仁科文子、西隆一郎、伊藤祐二、神田英司、肥山浩樹、平端樹、末吉武志、須本祐史	2

期 (Term)		科目名 (Subject)	担当者 (Lecturer)	単位 (Credits)
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	バスケスミゲル、安樂和彦、江幡惠吾、石崎宗周、大富潤、西隆昭、山中有一、土井航	2
夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	小谷知也、山本淳、石川学、小谷知也、田角聰志	2
1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	吉川毅、宇野誠一、國師恵美子、前田広人、奥西将之	2

修得すべき単位数 (Number of credits required)

	単位 (Credits)	備考 (Remarks)
必修科目 (Compulsory Subject)	18単位	
選択必修科目 (Compulsory Elective)	4単位	示された単位数を取得しなくてはならない。示された単位をこえて取得した単位は、選択科目に加えることができる。 A designated number of credits are required. Surplus credits may be counted in elective subjects.
選択科目 (Elective)	8単位	示された単位数以内であれば卒業要件に含むことができる。選択できる科目については「科目一覧」を参照のこと。また、主指導教員の履修指導により、他研究科の開設科目をこれに算入できる場合がある。 A designated number of credits can be counted in the points required for graduation. As for the subjects you may take, refer to the List of Subjects of the Course. Subjects offered by other Graduate Schools may be counted in if instructed specifically by your main supervisor.
計	30単位	



## 4. 履修の方法と注意

本研究科の教育課程は、基本カリキュラムに加えて、希望者が選択できる熱帯水産学国際連携履修プログラム及び食品管理技術者教育プログラム、希望する留学生を対象とした留学生プログラムで構成されている。研究科の教育は、学生の研究の指導と授業科目の履修による学修で構成されている。研究科修了には、修了要件に算入される授業科目の履修により 30 単位を修得すると共に、研究指導を受け修士研究論文試験に合格する必要がある。

研究指導は、1 名の主指導教員及び 2 名の副指導教員によって行われる。  
授業科目はその目的と内容に応じて以下のように区分される。

研究科共通科目：研究科共通の内容を教授する講義科目である。

研究科実験実習科目：研究科共通の内容を学ぶ実験実習科目であり、全コースの学生が受講することを前提としている。

キャリア実践科目：実務能力を向上させるための科目である。

専攻共通科目：専攻で共通した知識や研究手法を身につけるための科目である。

基礎特論：各コースの教育内容の基礎を教授する講義科目であり、他コースの学生の受講を前提としている。

コース独自科目：各コースの専門的内容を教授する講義科目であり、コースに所属する学生が受講することを前提としている。

コース実験実習科目：各コースの専門分野が扱う技術を身につけるための実験実習科目であるが、他コースの学生の受講を前提とした科目もある。

留学生プログラム科目：留学生プログラムに登録した留学生を対象とした講義科目であるが、日本人学生も受講できる。

各科目は、コース毎に必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目に指定され、特定の学生以外に受講を認められない科目もある。選択必修科目とは、指定された科目群からコースで示された単位数以上を履修すべきもの、選択科目とは、指定された科目群から一定の単位以内であれば卒業要件として認められるものであり、自由科目は卒業要件に含まれない科目である。詳細は所属するコースの「履修課程表」及び「科目一覧」を確認すること。

2 年間の研究及び科目履修を合理的で実りあるものにするためには、研究科修了後の就職、進学等を勘案し、入学時に 2 年間の履修計画を立てることが望ましい。プログラムの履修も含めて指導教員と十分に話し合って決める必要があるが、履修規則を熟読し自らの責任で学修することを忘れてはならない。

### 熱帯水産学国際連携履修プログラム

本研究科が連携している海外の大学で授業科目を履修、単位を取得させることで、グローバル人材の育成を目指す教育課程であり、本研究科の修了要件に加えてプログラムの修了要件がある（5. 热帯水産学国際連携履修プログラムを参照）。海外の大学での学修への支援では、本プログラムの学生が優先される。留学生プログラムとの重複登録はできない。

### 食品管理技術者教育プログラム

食品安全に関わる専門人材の育成に取り組むもので、社会人向けの履修証明プログラム

である食品管理技術者養成コースと同時に開講される。この教育プログラムで開講される科目は本研究科の修了要件には含まれない。また、授業は夜間や土日に開講されることに留意すること。なお、本プログラム修了者には、教育プログラム修了証と食品安全マネジメント協会の修了証を授与する（6. 食品管理技術者教育プログラムを参照）。日本語での教育を原則としている。

### 留学生プログラム

外国人留学生を対象とし、専門知識及び技術のすべてを英語又は日英両語で開講される科目の履修と研究指導のみで修得し研究科の課程を修了することができるよう、いくつかの特別措置を含めて学修の便を図るための教育課程である（「7. 留学生プログラム」を参照）。希望した留学生のみが履修できる。

### 開講期

本研究科では、クオーター制（学期を前半と後半（それぞれ a、b と呼ぶ）に分けて運用する制度）を採用している。2 クオーター以上連続で開講されるものもある。履修方法と調査・研究計画の調整については、指導教員と十分に相談すること。

また、国際連携による研究科熱帯水産学プログラム（ILP）の短期受け入れ学生や留学生も交え、本研究科学生に外国人学生と共に学び合う機会を提供しグローバル化を体感できるように、サマーセッション（S. S.）を設けている。この期間の科目は夏期集中科目として扱われる所以、定められた期間に履修登録すること。

### 英語で開講する科目

専門的知識を英語で運用する能力を開発するために、いくつかの科目は英語で開講する。これらの科目は、短期受け入れ学生や留学生の専門知識・技術の修得のための科目も兼ねているので、教室では外国人学生と共に学ぶこととなる。

### 指導教員と研究課題の登録

入学時に、主指導教員が作成した指導計画書を提出し、主指導教員 1 名、副指導教員 2 名及び修士研究の課題名を登録する。作成にあたっては、主指導教員と学生の間で研究計画と履修計画について十分相談すること。なお、在学中に指導教員を変更する場合は、変更届を提出する必要がある。

### 履修登録

本研究科の指定する期間内に、受講届（Web 登録）により履修する授業科目を登録しなければならない。時間割上の一つの時間帯には一科目しか登録できないが、集中科目については時間割に係らず履修登録ができる。登録に際しては各科目のシラバスを熟読すること。

### 各学期の登録単位数の上限

修了要件に算入される単位数及びその他の必修科目の単位数として、各学期に登録できる授業科目の合計単位数は、16 単位を限度とする。ただし、サマーセッションに開講する科目、集中開講科目及び随時開講科目の単位数はこの限度に算入しない。

### 履修登録の変更等

履修登録の変更及び追加は、履修規則に定められている期間にのみ認められる。ただし、定員等の関係で追加登録が認められない場合もあるので、十分に注意すること。

履修規則に定められた条件を満たす場合、履修登録を取り消すことができる。ただし、集中講義の履修登録を取り消したい場合は日程公示後3週間以内、かごしま丸による乗船実習科目の履修登録を取り消したい場合は説明会後1週間以内に願い出なければならない。熱帶水産学国際連携履修プログラムにおける履修登録の変更については「5. 热帶水産学国際連携履修プログラム」を参照のこと。

#### 他研究科等の授業科目の履修

他の研究科等の授業科目の履修については、定められた手続きにより履修することができる。履修を希望する場合は、指導教員と相談の上学生係に申し出ること。修得した授業科目は、主指導教員が認めた場合に限り選択科目とみなすことができ、それ以外は自由科目となる。

#### 随時開講科目等に関する連絡

乗船実習科目等、開講時期が明示されていない授業科目に関する情報等は、基本的にAGRI-FISH-WEBを通じて通知するので、入学直後にメールアドレス及び携帯電話番号などの学生情報を必ず登録すること。休講情報、開講日時の変更、実験・実習の集合場所等の授業情報も、AGRI-FISH-WEBを通じてメールで配信される。

#### 社会人入学者の履修

社会人入学者に対しては、必要に応じて、夜間その他特定の時間や時期の授業開講や研究指導、特別な授業開講方式が認められる。学生と主指導教員及び授業担当教員が十分相談の上、指導計画書にその内容を記載すること。

## 4. Methods to Study and Important points

The curriculum of the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries, Kagoshima University (hereinafter, referred to as the ‘School’) is composed of the Basic Curriculum; International Linkage Programme on Tropical Fisheries and the Education Programme for Food Management Expert, both of which are optional for students who wish to enroll in them; and the Foreign Student Programme which is designed specially for overseas students. The education in the School is performed by supervision of student research and course work covered in the subjects offered in the programme. In order to graduate from the School, students must be awarded 30 credits from subjects which are categorised as required for graduation and they must pass the examination on the master thesis after being supervised on their research.

The student research is supervised by one main supervisor and two co-supervisors for each student.

Subjects are categorised as follows, depending on the purpose and content:

**General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries:** This subject covers the common contents of all Courses of the School.

**Experiment and Practical Training:** This training covers the content common to all Courses of the School.

**Business Skills:** This subject aims at developing practical skills.

**Thesis Research:** This subject covers the knowledge and research methods needed for completing the Master’s research.

**Basic Lecture:** This subject covers the basics of the educational contents of each course. This lecture is for not only students in each course but also those in other courses.

**Lectures for Course Students:** They match the specialized content of each course. These lectures are mainly for students registered in each course.

**Experiment and Practical Training for Course Students:** This training focuses on experiments and on-board training so students can obtain skills dealing with the specialized fields of each course. Some are opened for students registered in other courses.

**Lecture for Foreign Students:** This lecture is for foreign students registered in the Foreign Student Programme and lectured in English, though Japanese students might join.

Subjects of each Course are categorised into “compulsory”, “compulsory elective”, “elective” and “non-credit” subjects. Some subjects are open only to specific students. “Compulsory elective subjects” are chosen by students from a group of designated subjects to obtain credits required by the course. “Elective subjects” are a group of subjects which are counted, up to the designated limit, towards the credits required for graduation. “Non-credit subjects” carry credits which are not included in the number of credits required to graduate. For details, refer to the Curriculum Guide and List of Subjects of the Course.

In order to make the research and course work conducted over two years rational and fruitful, students need to develop a plan upon entry into the School, considering their future career or the graduate school they wish to enroll after graduation. Registration in the Programme should also be decided on after sufficient discussion with their supervising teaching staff; however, students themselves are held responsible for following the Curriculum and Registration Rules.

#### International Linkage Programme on Tropical Fisheries

This curriculum aims to develop globally-capable personnel through allowing students to take subjects and award credits offered by overseas universities with which the School possesses linkages. There are requirements to complete the programme in addition to the requirements to graduate from the School (refer to section 5: International Linkage Programme on Tropical Fisheries). Students in the programme are given priority for receiving support to study at universities overseas. Double registration into this programme and the Foreign Student Programme is not be permitted.

#### Education Programme for Food Management Expert

This curriculum aims to develop experts specialised in food safety. It is offered together with the Training Course for Food Management Expert, which is a course certification programme designed for refreshers. The subjects taught under this programme are not counted in the requirements for graduation. Also note that classes are later than 18:00 or on weekends. Students who have completed this programme will be awarded a certificate of completion of the programme and a certificate of completion issued by the

“Japan Food Safety Management Association” (Refer to section 6). In principle, education is only given in the Japanese.

#### Foreign Student Programme

This curriculum is optional for foreign students who wish to enroll it and includes some special arrangements in order to let them obtain professional knowledge and expertise by taking subjects and research supervision in English, or combining both English and Japanese (refer to section 7: Foreign Student Programme). This programme is exclusively limited to foreign students.

#### Academic Calendar

The School runs its academic calendar on a quarter system (each semester is divided into first and second halve (referred to as “a” and “b” respectively)). Some subjects are offered over two consecutive quarters. Students are strongly recommended to discuss sufficiently with their supervisor regarding the arrangement of the required subjects and other surveys/research activities.

In addition, the faculty provides a system of Summer Sessions (S.S.) designed to let students experience globalisation by providing them with opportunities to study in collaboration with students from overseas in the “International Linkage Programme (ILP) on Tropical Fisheries” visiting Kagoshima on a short-term basis, and long-term visiting students from various countries. Intensive classes are given in the summer course. Students should register during a designated period.

#### Subjects Taught in English

In this School, some subjects are taught in the English in order to develop students’ capability to understand specialty knowledge and develop English skills. These subjects are also for short-term students and foreign students trying to gain professional knowledge and expertise. Therefore, students from multiple countries study together in the same classroom.

#### Registration of Supervisors and Research and Study Plan

A student should, upon entry to the School, submit a supervision for research and study plan prepared by the main supervisor, to register the names of one main and two co-supervisors and decide the topic of research. In doing so, the main supervisor and

student should discuss sufficiently about the research plan and decide the working schedule. A student should, when changing supervisor(s), report the change.

#### Registration of Subjects

A student should, during the period designated by the School, register (Web-registration) for the required subjects. Only one subject can be registered in each cell in the course work timetable; however, intensive subjects can be registered with no respect to the timetable. Read the syllabus of subjects carefully prior to registration.

#### Maximum Number of Credits of Registered in One Semester

With respect to the required subjects for graduation and other compulsory subjects, the maximum number of credits that a student may register for in one semester must not exceed 16 credits. However, the credits from subjects conducted during the summer session, intensive subjects and other occasional subjects are excluded from this limitation.

#### Change of Registered Subject and other matters

Changes or additions of registered subjects is only permitted during the period stipulated in the “Curriculum and Registration Rules”. However, students must be careful because if the maximum number of students permitted in a class has been filled, additional registrations may not be accepted.

Withdrawal of Registered Subject is possible when the conditions provided in the “Curriculum and Registration Rules” are satisfied. However, in the case of withdrawal from intensive subjects, the student should report the withdrawal within 3 weeks after the public notice of the schedule, while in the case of withdrawal from registrations to on-board training subjects, the student should report the withdrawal within 1-week after the guidance meeting.

With respect to the change in registration to subjects in the International Linkage Programme on Tropical Fisheries, refer to the section 5: International Linkage Programme on Tropical Fisheries.

#### Registration of Subjects Offered by Other Schools

Students may take subjects offered by other postgraduate schools in accordance with the procedure provided separately. A student who desires to do so should report to the Student Affairs Division of the Administration Department and get advice from the

supervisors. The subject taken as above is a “non-credit subject”. A subject may, however, be assumed to be an “elective subject”, if the concerned student took that subject with approval of the main supervisor.

#### Information Relevant to Occasional Subjects and Other Matters

Information regarding subjects not shown in the class timetable, such as “on-board training”, is provided through the ‘Agri-Fish-web’ HP. Students should register and input their student information, such as e-mail address and mobile-phone number upon enrolment in the School. Information regarding the classes, such as cancellation, change in date and time, change in location for the experiment/practical classes, etc., is also provided through the ‘Agri-Fish-web’ HP.

#### Special measures for working students

Working student may benefit from flexible scheduling of course work and research supervision in terms of the time of the day or time of the year, or make special arrangements for their course work. The student, the main supervisor and the teaching staff should discuss the matter thoroughly and state the outcome of this arrangement in the supervision plan.

5. 热带水产学国际连携履修プログラム

6. 食品管理技術者教育プログラム

7. 留学生プログラム

7. Foreign Student Programme



## 5. 热帯水産学国際連携履修プログラム

本履修プログラムは、本研究科の学生が、アジアの複数の大学により開設された Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (国際連携による研究科熱帯水産学プログラム、以下、ILP という) の下で学修するために設けたものである。ILP は、これを構成する研究科がそれぞれ特徴のある科目を提供し、それらを共有することで、構成研究科の学生に質の高い教育を提供し、グローバル化が進む水産業や社会に貢献できる知識・技術と意思を持った人材を育成するために設けた、国際的な枠組みである。構成研究科は、本研究科と、ボゴール農科大学水産・海洋科学研究科（インドネシア）、サムラトランギ大学水産・海洋科学研究科（インドネシア）、マレーシアトレンガヌ大学水産・養殖科学研究科（マレーシア）、フィリピン大学ビサヤス校水産・海洋科学研究科、カセサート大学水産学研究科（タイ）、ニヤチャン大学研究科（ベトナム）である。

本研究科の熱帯水産学国際連携履修プログラム（以降、履修プログラムという）に登録した学生は、ILP の下で、受講料等の経済的負担を負うことなく、構成研究科によって提供される科目を自由に履修し、構成研究科の学生と同等で同質の教育を受け、単位を取得することができる。定められた履修プログラムの修了要件を満たして本研究科を修了した場合、修士の学位に加えて、ILP 修了証書が授与される。

本履修プログラムの学修は、ILP 共通規則に加えて、本研究科履修規則及びそれに基づいて定められた熱帯水産学国際連携履修プログラム履修細則に則って行われる。ただし、海外での学修に関しては、国による高等教育制度の差異のために、授業や指導の方法が異なる場合がある。各構成校での学修や生活に関する情報は、別途用意された ‘Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)’ に説明されている。構成校が提供する科目の履修については、ガイダンスを熟読の上、指導教員の指導を十分に受けて決定することが望ましい。

### 5. 1 履修プログラム履修上の注意

#### 履修プログラム登録の届け出

本履修プログラムでの学修を希望する学生は、履修プログラムに登録しなければならない。希望者は、主指導教員の指導を受けて、入学手続き時に履修プログラム登録希望届を提出しなければならない。履修プログラムの定員は 10 名とする。希望者が定員を上回った場合は、入学者選抜試験の成績上位者から登録を受け付ける。なお、登録に漏れた学生は、本人が希望する場合、補欠者として希望届を留保することができる。

#### 履修プログラムの修了要件

履修プログラムに登録した学生は、本研究科履修規則に従うほか、熱帯水産学国際連携履修プログラム履修細則に従って学修し、プログラムに提供された科目から 12 単位以上を修得する必要がある。このうち、少なくとも 6 単位は「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」に示す本研究科以外の構成研究科から提供された科目を修得しなければならない。「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」は更新されることがあるため、最新版は本研究科ホームページで確認すること。

#### 構成大学が提供する科目の履修登録

構成大学が提供する科目を履修する場合は、本研究科開講科目と同様に、履修する学期の

定められた期間に履修登録を行わなければならない。ただし、渡航手続き等のために、上記より早く履修の希望を調査する場合がある。

構成大学が提供する科目の履修登録は、取り下げることはできない。各構成研究科の学期制度が異なることから、構成研究科が提供する科目を履修できる時期は限られている。したがって、別途配付するガイダンスを参照しつつ、指導教員及び本履修プログラム担当教員の指導を受けて、履修計画を立てる必要がある。

### **修士論文**

本履修プログラムの学生は、主指導教員の指導に従い、「Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)」に示す本研究科以外の構成研究科教員一人を第一または第二副指導教員とし、修士論文研究の指導を受けることができる。

### **海外での学修への支援**

本履修プログラムに登録した学生は、本研究科以外の構成研究科から提供され海外で開講される科目を、別に定める履修登録期間に履修登録を行ない履修する場合、渡航費（別に定める航空運賃及び宿泊費）の半額を上限として、経済的な支援を受けることができる。ただし、入学者選抜試験又は入学後の成績が不十分な場合又は定められた履修登録期間以外に履修登録を行った場合、上記の支援の一部又は全部を受けられないことがある。

ILP構成校で約1ヶ月の学修を行う場合、渡航手続き開始時に航空運賃及び宿泊費を一旦支払う必要があるので、履修プログラム登録希望者は十分に留意し費用を用意しておく必要がある。渡航費用含む詳細は、ガイダンスなどを通じて案内する。

### **履修プログラム登録の取り下げ、取り消しと追加登録**

本履修プログラムに登録した学生が、本履修プログラムに則った履修を放棄したい場合は、登録を取り下げなければならない。また、本履修プログラムを修了するのに必要な科目を履修していないと認められた場合や構成校が開講する科目的履修を放棄した場合等は、登録を取り消される場合がある。

履修プログラム登録を取り下したり取り消された場合でも、本研究科の修了要件を満たせば、その修了には影響しない。それらの場合、他の構成研究科提供科目的履修により修得した単位は、研究科履修規則に定める他大学の大学院における授業科目的履修による単位として扱われる。

履修プログラム定員に不足が生じた場合、希望に従い、補欠者の上位者から履修プログラムへの追加登録者とする。

### **履修プログラムと留学生プログラムの重複登録の禁止**

本履修プログラムと留学生プログラムの両方に登録することはできない。

## 5. 2 農林水産学研究科が開講する履修プログラムの指定科目

本研究科が開講する履修プログラムの指定科目を以下に示す。

期	科目分類	科目名 <sup>1)</sup>	単位
夏期集中	基礎特論	生物環境科学基礎特論 Aquatic Biology	2
夏期集中	基礎特論	生物資源科学基礎特論 Aquatic Bioresource Science and Technology	2
夏期集中	基礎特論	増養殖学基礎特論 Aquaculture	2
2 期	留学生 プログラム	Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2
1 期集中	コース独自	Marketing and Management in Fisheries	2
1 期	基礎特論	環境保全学基礎特論 Environmental and Conservation Sciences	2
1 期	留学生 プログラム	Fisheries & Fisheries Sciences	2
夏期集中	(自由科目) <sup>2)</sup>	機器分析実習 BCH Latest Analytical and Experimental Methods (Biochemistry)	1
夏期集中	(自由科目) <sup>2)</sup>	機器分析実習 BBI Latest Analytical and Experimental Methods (Basic Biology)	1
夏期集中	(受講不可) <sup>3)</sup>	機器分析実習 (オープン) Latest Analytical and Experimental Methods (Open)	1
2 期集中	コース 実験実習	On-board Training of Oceanographic Observation	1
2 期集中	コース 実験実習	資源・計測乗船実習 On-board Training of Resources and Measurement Techniques	1
1~4 期 集中	研究科 実験実習	沿岸域乗船実習 (大学院) On-board Training in Coastal Area	1
1b 期 集中	キャリア実践	Tropical Fisheries	2

- 1) 日英両言語での科目名が示されている科目は、日本語と英語両方の言語で授業が行われる。英語のみの科目名が示されている科目は、英語のみで授業が行われる。
- 2) 修得した単位は卒業要件単位に算入されない。
- 3) 本研究科を除く ILP 構成研究科の学生向けに開講される。本研究科の学生は履修できない。

## 6. 食品管理技術者教育プログラム

食品産業界では食品安全管理・品質管理の高度化が必要不可欠な状況となっており、日本の食品産業の発展及び国際競争力強化のためには、食品安全に関する専門人材の育成が急務となっている。本プログラムはこのような情勢の中、国際標準の食品安全や品質管理に関する取組みを取り込んだ食品安全専門人材を育成するために、農林水産省、日本マクドナルド株式会社、一般財団法人 日本食品安全マネジメント協会、三菱総合研究所、鹿児島県が協働し設けたものである。

本プログラムは社会人向けの履修証明プログラムである「食品安全管理技術者養成プログラム」と同時に開講される。そのため、開講される曜日や時限は通常の授業と異なり、土日や平日 6 限以降となる。受講を希望する者は、主旨指導教員と相談し、研究の遂行に支障がないように受講計画を立てること。なお、本プログラムの開講科目は修士課程修了要件には含まれない。

本プログラムの指定科目（表 6－1）を全て履修し単位を修得した学生は、本研究科修了時に申請することにより、修士の学位に加えて「食品安全管理技術者教育プログラム修了証明証」が授与される。また、本教育プログラムは一般財団法人 食品安全マネジメント協会認定の教育機関として、「食品安全基礎コース」、「監査コース」の内容を含み、修了者には食品安全マネジメント協会認定の修了証を有料（発行手数料）で授与する。

### 6. 1 教育プログラム履修上の注意点

#### 教育プログラムの履修申請

本教育プログラムは 1 年単位のスケジュールで進行するため、受講を希望する者は履修申請を前期に行わなければならない。卒業した学部によっては受講しなくてもよい科目があるので表 6－1 の食品安全管理技術者教育プログラム指定科目で確認すること。

#### 教育プログラムの修了要件

本プログラムを受講する学生は、表 6－1 の左欄の区分に基づいて、それぞれ同表の右欄に掲げる科目を履修し単位を修得しなければならない。

表6-1. 食品管理技術者教育プログラム指定科目

		農林水産学研究科で修得すべき指定科目						
基礎となる事項		マクドナルドサプライチ エン品質・安全特論	食品産業国際規格論	食品安全特論	食品産業監査特論	食品加工論	食品環境測定論	食品衛生論
大学の農学系学部において右記の科目を修得した者	食品衛生監視員の資格要件の保有者 ※1	1 単位	1 単位	2 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位
	植物・動物性の食品・食材に関する科目 ※2	○	○	○	○	—	○	○
	食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目 ※2	○	○	○	○	○	—	○
	微生物危害に関する科目 ※2	○	○	○	○	○	○	—
	上記以外の者	○	○	○	○	○	○	○

- 備考 1. 表中の○印は必修、一印は受講の必要はないものを示す。なお、大学の農学系学部において修得した科目区分が複数の場合はそれぞれの区分を併せて適用することができる。
2. ※1の食品衛生監視員の資格要件の保有者とは、食品衛生法の特定課程で所定の科目（平成16年2月27日付、食安発第0227003号 厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知）を修得している者及び食品衛生法の養成施設の認定を受けている課程において所定の科目を修得している者を指す。
3. ※2の植物・動物性の食品・食材に関する科目、食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目及び微生物危害に関する科目並びに修得すべき単位数については、表6-2に示すとおりである。
4. ※2の科目と同等と認められる科目については、学生からの申請に基づき審査し、同等と認めることがある。ただし、申請は、履修申請開始の7日前までに成績証明書及びシラバスを添えて申請したものに限る。

表6-2

区分	科目名等	単位数
植物・動物性の食品・食材に関する科目	「植物性食品学」、「動物性食品学」、「水産物利用学」	2単位
食品を扱う上で必要な測定スキルに関する各種実験科目	「基礎化学実験」、「食品分析化学実験」、「食品生化学実験」、「微生物学実験」、「環境物理学実験」、「品質管理システム学」、「食品プロセス学」、「食品プロセス学実習」、「食品科学基礎実験」、「食品工学実験・実習」、「食品衛生学実験」、「資源利用化学実験」、「生物化学実験」	2単位
微生物危害に関する科目	「食品衛生学」、「公衆衛生学」	2単位

## 修了証等の発行

本教育プログラムの修了証明書の授与を希望する学生は、鹿児島大学大学院農林水産学研究科「食品管理技術者教育プログラム」修了証明書発行申請書により研究科長に申請しなければならない。修了証明書は、本研究科の修了時に授与する。

## 7. 留学生プログラム

留学生プログラムは、海外からの留学生を対象に、本研究科課程修了に必要なすべての学修を英語で行うことができるよう設けたものである。日本語で教授される必修科目に代えて英語の必修科目を開講するなどいくつかの特別措置を設け、学修の便を図るものである。以下の留学生プログラム履修課程及び科目一覧を参照し、主指導教員の指導の元、履修計画を作成すること。

なお、本プログラムについて定められた特別措置のほか、就学の基本に関することは本研究科履修規則に従うので、それらを十分に理解する必要がある。留学生でも、本プログラムに登録しない場合は本研究科の基本カリキュラムのみに従って日本語を主な使用言語とした教育を受けることになる。

### 7. 1 留学生プログラム履修課程

#### 必修科目

以下の 14 単位を全て取得する。

Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2 単位	(英語開講)
Fisheries & Fisheries Sciences	2 単位	(英語開講)
専攻共通科目 倫理特論	1 単位	(日英開講)
専攻共通科目 特別研究 I	3 単位	(日英開講)
専攻共通科目 特別研究 II	4 単位	(日英開講)
専攻共通科目 特別研究 III	2 単位	(日英開講)

#### 選択科目

○ページの科目一覧に示されている選択科目（英語又は日英開講）から 16 単位を取得する。科目一覧に附記されている注意事項をよく読むこと。

### 7. 2 プログラム履修上の注意

#### プログラムへの登録

本課程に沿って学修する留学生は、入学時にプログラムに登録しなければならない。本プログラムには定員は設けない。

#### プログラム登録の取り下げ

本プログラムに登録した留学生が、プログラム登録を取り下げることを希望する場合は、すみやかに届け出なければならない。なお、Ⅲ期の履修登録確定以降のプログラム登録の取り下げは原則として認められない。登録を取り下げた場合は、上記の特別措置はうけられなくなるので、注意すること。

#### プログラムと熱帯水産学国際連携コースの併願の禁止

本プログラムと熱帯水産学国際連携コースの両方に登録することはできない。

## 7. Foreign Student Programme

This programme is specifically prepared to enable foreign students to fulfil all the requirements to complete the Master's course of this School through studies conducted only in English. To this end, special arrangements have been made, including offering some compulsory subjects in English. Refer to the following curriculum and "List of Subjects" to prepare the course work schedule under the guidance of the main supervisor.

It is strongly noted, however, that the Curriculum and Registration Rules of the School shall be applied to basic matters relevant to enrolment, registration, credits, research, graduation requirements etc. in the School, except as stated in the special arrangements explained herewith for foreign students. It must be also noted that foreign students who do not register for this Programme shall study mainly in Japanese in accordance to the standard curriculum of the School.

### 7.1 Curriculum for the Foreign Student Programme

#### Compulsory Subjects

Students must be awarded all the 14 credit points listed below.

(unit: credits)

Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy 2 (in English)	
Fisheries & Fisheries Sciences	2 credits (in English)
Thesis Research Advanced Ethics	1 credit (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study I	3 credits (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study II	4 credits (in Japanese & English)
Thesis Research Special Study III	2 credits (in Japanese & English)

#### Elective Subjects

Students must be awarded the 16 credit points in the form of "elective subjects" (taught in English or Japanese & English) are shown in "List of Subject".

Reading through the notes added to the List of Subjects is strongly suggested.

### 7.2 Advice for Registration into the Programme

#### Registration for the Foreign Student Programme

All foreign students who study in this Programme shall register upon enrolment into

the School. There is no limitation on the number of students joining the Programme.

**Withdrawal from the Foreign Student Programme**

When a student registered for the Foreign Student Programme wants to withdraw from the Programme, promptly notifying the School is required. Withdrawal from the Programme after the confirmation of registration of subjects offered in Semester III is not permitted. It must be noted that the stated special arrangements shall not apply to students who withdraw.

**Prohibition of Double registration into the “Foreign Student Programme” and “International Linkage Programme (ILP) in Tropical Fisheries”**

Double registration into the Foreign Student Programme and the International Linkage Programme on Tropical Fisheries is not be permitted.



## 8. 科目一覽 List of Subject

## 科目一覧表 (List of Subjects)

以下の表は、農林水産学研究科の教育に関連する全ての科目について、各コースやプログラムでの指定を表示している。各科目の位置付けをよく理解し、指導教員と相談した上で履修すること。

●必修：修了のために単位取得を必須とするもの

◎選択必修：提示された科目群から指定された単位数以上を取得する必要があるもの  
(指定された単位数以上に取得した場合は選択科目として修了要件に算入される)

○選択：提示された科目群から指定された単位数以内であれば修了要件として扱うもの

▲自由科目：修了要件単位に含まれないもの

×：履修不可

The following table lays out the requirements for each Course/Program of all subjects related to the education provided by the Graduate School of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Develop a good understanding about the standing of each subject and consult with your supervisors before registration.

●Compulsory subjects: Obtainment of credits are required for graduation.

◎Electively compulsory subjects: Students are required to choose electively compulsory subjects from a group of designated subjects and obtain the number of credits or more required by the Course.

(If more credits than designated are obtained, the surplus will be counted in the requirements for graduation for elective subjects.)

○Elective subjects: Students are required to choose elective subjects from a group of designated subjects which are counted, up to the designated limit, in the points required for graduation.

▲Non-credit subjects: Carry credits which are not included in the number of credits required to graduate.

×: Non-recognition for registration. Open only to specific students.

期 (Term)		科目名 (Subject)	単位 (Cred- its)	農林資源科学専攻 (Agriculture, Natural Resources and Forestry)				食品創成科学専攻 (Food Innovation Science)			環境フィールド科 学専攻 (Field Environment Science)			水産資源科学専攻 (Fisheries Resource Science)			留学生 プログラム Foreign Student Programme
				植物 生 産 科 学 コ ー ス	畜 産 科 学 コ ー ス	森 林 科 学 コ ー ス	食 料 農 業 經 済 學 コ ー ス	食 品 科 学 コ ー ス	先 端 生 命 科 学 コ ー ス	燒 酎 發 酵 ・ 微 生 物 科 學 コ ー ス	生 物 環 境 科 學 コ ー ス	環 境 シ ス テ ム 科 學 コ ー ス	生 物 資 源 科 學 コ ー ス	增 養 殖 學 コ ー ス	環 境 保 全 學 コ ー ス	流 通 ・ 政 策 學 コ ー ス	
1	1b期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	▲	
2	1a期	研究科共通科目 (General Lecture in Agriculture, Forestry and Fisheries)	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	▲	
3	1~4期集中 (intensive)	研究科実験実習科目 (Experiment and Practical Training)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)	
4	1~4期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)	
5	1~4期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)	
6	2期	キャリア実践科目 (Business Skills)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
7	2期	キャリア実践科目 (Business Skills)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
8	2期	キャリア実践科目 (Business Skills)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
9	1b期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
10	1・2期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	8	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
11	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
12	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
13	1期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	2	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	

14	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食料農業経済学基礎特論 (Food and Agricultural Economics)	2	◎	◎	○	●	◎	◎	◎	◎(a)	◎(a)	◎	◎	◎	◎	▲
15	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	食品科学基礎特論 (Food Science)	2	◎	◎	○	○	●	●	●	◎(a)	◎(a)	◎	◎	◎	◎	▲
16	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	先端生命科学基礎特論 (Advanced Life Science)	2	◎	◎	○	○	●	●	●	◎(a)	◎(a)	◎	◎	◎	◎	▲
17	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	微生物科学基礎特論 (Microbiology)	2	◎	◎	○	○	●	●	●	◎(a)	◎(a)	◎	◎	◎	◎	▲
18	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物環境科学基礎特論 (Aquatic Biology)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	●	◎(a)	◎	◎	◎	◎	○5)
19	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境システム学基礎特論 (Environmental System Science)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎(a)	●	◎	◎	◎	◎	▲
20	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	生物資源科学基礎特論 (Aquatic Bioresource Science and Technology)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎(a)	◎(a)	●	◎	◎	◎	○5)
21	夏期集中 (intensive)	基礎特論 (Basic Lecture)	増養殖学基礎特論 (Aquaculture)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎(a)	◎(a)	◎	●	◎	◎	○5)
22	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	環境保全学基礎特論 (Environmental and Conservation Sciences)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎(a)	◎(a)	◎	◎	●	◎	○5)
23	1期	基礎特論 (Basic Lecture)	水産流通・政策学基礎特論 (Marketing and Management in Fisheries)	2	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎(a)	◎(a)	◎	◎	◎	●	○5)
24	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学倫理特論 (Research Ethics in Agriculture, Natural Resources and Forestry)	1	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	●1)	
25	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 I (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry I)	3	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	●1)	
26	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 II (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry II)	4	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	●1)	
27	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	農林資源科学特別研究 III (Special Research on Agriculture, Natural Resources and Forestry III)	2	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	●1)	
28	2期	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	植物生産科学特別講義 (Special Lecture for Plant Production Science)	2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
29	1・2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	植物生産科学特別演習 (Seminar in Plant Production Science)	2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
30	1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	植物生産科学実習1 (Practical training in Plant Production Science 1)	2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)	
31	1・2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	植物生産科学実習2 (Practical training in Plant Production Science 2)	2	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
32	1～4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	畜産科学特別実験 (Advanced Laboratory in Animal Science)	2	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○6)	
33	1～4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	畜産科学特別演習 (Advanced Seminar in Animal Science)	2	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○6)	
34	2b期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	畜産科学特別実習 (Practice in Livestock Farm)	1	○	○	○	○	○	○	○	○(c)	○(c)	○	○	○	×	
35	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林科学特別実験 (Advanced Experiment in Forest Science)	2	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
36	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林科学特別演習 (Advanced Seminar in Forest Science)	2	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
37	1・2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林資源科学特別講義 (Advanced Lecture in Forest Resources Science)	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
38	1・2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林環境科学特別講義 (Advanced Lecture in Forest Environmental Science)	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
39	1・2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	森林科学実践講義 (Practical Lecture in Forest Science)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	



64	隔年・1期集中 (intensive)	キャリア実践科目 (Business Skills)	商品開発特論 (Advanced Commodity Development)	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	×
65	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学倫理特論 (Research Ethics in Field Environment Science)	1	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●3)	
66	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 I (Special Research on Field Environment Science I)	3	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●3)		
67	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 II (Special Research on Field Environment Science II)	4	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●3)		
68	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	環境フィールド科学特別研究 III (Special Research on Field Environment Science III)	2	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●3)		
69	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	生物環境科学特別講義 (Special Lecture for Aquatic Biology)	2	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	○6)		
70	2期	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	解析学特別講義 (Special Lecture for Mathematical Analysis)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
71	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	ICT・ロボット技術特別講義 (Special Lecture for ICT and Robotics)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
72	2期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	水科学特論 (Advanced Water Science)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
73	2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	外洋域乗船実習 (On-board Training of Oceanographic Observation)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
74	1期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	フィールド計測実習 (Practical Training for Field Measurement Methods and Instrumentation)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
75	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学倫理特論 (Research Ethics in Fisheries Resource Science)	1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●4)	
76	1期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 I (Special Research on Fisheries Resource Science I)	3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●4)	
77	2期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 II (Special Research on Fisheries Resource Science II)	4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●4)	
78	3期集中 (intensive)	専攻共通科目 (Thesis Research)	水産資源科学特別研究 III (Special Research on Fisheries Resource Science III)	2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●4)	
79	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	生物資源科学特別講義 (Special Lecture for Aquatic Bioresource Science and Technology)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○6)	
80	2期集中 (intensive)	コース実験実習科目 (Experiment and Practical Training for Course Students)	資源・計測乗船実習 (On-board Training of Resources and Measurement Techniques)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○6)	
81	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	増養殖学特別講義 (Special Lecture for Aquaculture)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○6)	
82	1~4期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	増養殖学特別実習 (Practical Training of Aquaculture)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○6)	
83	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	環境保全学特別講義 (Special Lecture for Environmental and Conservation Sciences)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○6)	
84	1期集中 (intensive)	コース独自科目 (Lectures for Course Students)	水産流通・政策学特別講義 (Special Lecture for Marketing and Management in Fisheries)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	▲	
85	2期	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	Technology, Sustainable Food and Agriculture: The Synergy	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
86	1期	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	Fisheries & Fisheries Sciences	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
87	2期	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	Functional Foods: Principles and Biofunctions	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)	

88	1期	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	Advanced Plant Production Science	2	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)
89	1期集中 (intensive)	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	農林水産学リーディングコース I (Reading Course for Agriculture, Forestry and Fisheries I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)
90	2期集中 (intensive)	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	農林水産学リーディングコース II (Reading Course for Agriculture, Forestry and Fisheries II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○5)
91	1～4期集中 (intensive)	留学生プログラム (Lecture for Foreign Students)	留学生日本語7) (Japanese for Foreign Students)	2	▲ (×)	○5)													

- 1) 農林資源科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
  - 2) 食品創成科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
  - 3) 環境フィールド科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
  - 4) 水産資源科学専攻の留学生プログラム登録者のみ必修 (他の専攻からは履修不可)
  - 5) 受講にあたっては主指導教員に相談のこと
  - 6) 特定のコースに属する留学生を対象にしているため、受講にあたっては主指導教員及び授業担当教員に相談のこと
  - 7) 日本人学生は履修不可。留学生プログラムに登録していない留学生が履修した場合は自由科目とする。
- 1) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Agriculture, Natural Resources and Forestry (unavailable to students of other departments).
- 2) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Food Innovation Science (unavailable to students of other departments).
- 3) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Field Environment Science (unavailable to students of other departments).
- 4) Compulsory only for foreign students registered in Foreign Student Programme of Fisheries Resource Science (unavailable to students of other departments).
- 5) Consult with your main supervising professor before registration.
- 6) Consult before registration with your main supervising professor and the teacher of the subject because it was designed for foreign students of specific Courses.
- 7) Not open to Japanese nationals. Will be counted in non-credit subjects if taken by foreign students who are not registered in the Foreign Student Programme.